



この新聞はHP (<http://www.npo-asia.org>) でも読めます。上のQRコードを読み取ってください
 〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-18-22-414 E-mail: new-wind2006@npo-asia.org

アジア5か国の老若男女が集った、多様性に満ちたオンライン新春交流会

2月13日(日)午前11時より、交流校4大学と会員をオンラインで結んでの新春交流会が、会員52名、交流校Iメイト、教員、OBOG 含め75名、ゲストの鷗友学園女子中学高等学校28名、総勢150名を超える参加者を得て開催されました。

総合司会は元Iメイト留学生の王鶴さん(現在日本企業に勤務)が担当、加納啓良理事長の挨拶のあと、4大学5グループと日本からの発表に入りました。

第一部

貿易大学

トウーイ先生から「日本との友好関係を深める橋渡しの役割を担う人材を育てていきたい」とのご挨拶を頂きました。動画紹介の司会はチャン・ティ・ティン・ホアさん。軽快なリズムのメロディーに乗ってIメイト学生が登場、若者のライフスタイルを飲食、エンターテイメント、旅行、ファッション、仕事の5カテゴリーに分けて紹介、続いてユーモラスなビデオ短編にまとめた「おうち時間の過ごし方」に思わず笑いがこぼれ、最後にIメイト学生がそれぞれ自撮りしたヒットダンスが一つの画面に合成され、見事な出来栄でした。



<貿易大学・青春群像>

日本

学生会員・椎山明海さんから、人気のダンス動画、ポーズ、言葉が紹介されると、交流校のIメイト学生から次々と「これ知っています。大好きです」とチャットに投稿され、日本の若者文化のアジアへの広がりを感じさせました。

国際理解教育プログラムの一環として参加された鷗友学園女子中学高等学校の伊藤先生から「真の国際人を目指すうえでアジアと交流することが欠かせない」とのご挨拶を頂きました。生徒さんからは、テーマパークの楽しみ方、アニメなどの登場人物をオリジナルに発展させる2次創作の面白さ、レトロな町・東京下北沢の街歩き体験など、リアルな日本の若者像が動画で紹介されました。



<椎山さん・コロナ下の青春>

パジャジャラン大学

サムスル先生から「学習した日本語を使った発表の機会が学生のモチベーションにつながる」とのご挨拶を頂きました。続いて司会のファーリ デルファリヤディさんとアウリア リフキアナ アジクリさんから、コーヒー文化、若者言葉について、Iメイト学生の皆さんの出演によるドラマ仕立ての笑いの絶えない楽しい動画が紹介されました。



<左側アウリアさんとファーリさん>

タマサート大学

18年間にわたりご担当されたタサニー先生から「2022年9月に定年を迎える事になり後任にバトンタッチをするがアジア風の友好関係の継続を願っている」とのご挨拶がありました。続い

てタンチャノック・ラープアナンさんからタイのSNS事情、クスマー・コンカームさんからクイズ形式を使って流行りの若者言葉、シャノンヤー・キーラーさんから人気の娯楽としてアニメ、キャラマスコット、最新のカフェの紹介がありました。クイズではチャットに参加者から回答が沢山寄せられました。皆さんは正解できましたでしょうか？



<タマサート大学・ポップな若者文化>

清華大学

陳朝輝先生から「電子情報技術で先行する若者文化から一方的に学ばされることもあるが、若者の文化を分厚いものにするために日本の明治、大正、昭和初期の文学を教えていきたい」とのご挨拶がありました。続いて鄒宇涵さんからアニメをバックに透過した歌声で「tou-gen-kyo」が披露されました。

清華大学・架け橋グループ

架け橋グループ窓口の東工大・王亜民さんから「待機学生の東工大への留学再開を願っている」とのご挨拶を頂いたあと、臧龙凱さんの繊細なタッチのピアノ演奏、孫秋実さんの熱唱「秋桜」が動画で紹介されました。残念ながら程月雨杉さんのクラリネット演奏は動画再生ができませんでしたが、アジア風ホームページに掲載されていますので是非ご覧ください。

第二部

自由討論を楽しむ「新春おしゃべりの場」では、16グループに分かれて世代、国境を越えた交流の輪が広がり、「若者文化」への感想や質問でまたたく間に終了となりました。

(事務局長 西澤 逸実)

アンケートからの感想

- * 会話の練習になりもっとしゃべりたく、聞きたいです。
- * 気になっていたことなどを質問できて楽しかったです。
- * 国を超えた交流会に、リアルな若者の様子と活気を感じた。
- * とても頑張って日本語を勉強してきたことが伝わりました。
- * 若者と熟年者のギャップを痛感した。これがアジア風にとって大きな課題になると思う。

鷗友学園中高校生からの感想

- * 発表を見て私たち日本の若者と共通する点がたくさんあり、固定概念が消え、もっとアジアの国について知りたいと思いました。
- * 他国の文化や特徴などが、とても面白い動画でよく伝わってきました。コロナ禍であっても工夫して生活しているのだなと思い、やる気が出てきました。
- * それぞれの国特有の文化と、アジアで共通の文化があって面白かったです。
- * 若者文化というポップなテーマだったため、楽しく視聴することが出来ました。
- * 各国の方と話したことで、留学したいという思いがますます強くなった。コロナが収まったら実際に会って話してみたい。
- * 様々な国や世代の方と交流することが出来て楽しかったです。話し合うことでより知見が深まりました。日本を好きだと言ってくださりとても誇らしかったです。

アジア風は異文化交流の学びを通して、世界平和を希求しています(HP<私たちの願い>より)!

5か国の学生たちが躍動した多文化共生オンライン交流会に寄せて

— 文化交流を積み重ねて —

今年のオンライン新春交流会も、内容が濃く充実したものだと思えます。ベトナム、インドネシア、中国、タイそして日本、5か国の発表はどれもユニークで、それぞれの若者文化を垣間見ることができました。3時間の交流があっという間に過ぎてしまいました。チャットに「国の違いより、世代の違いの方が大きい」とおっしゃった方がいたようですが、このように異文化交流を続けていけば、世代間ギャップも縮められるのではと思いました。「新春おしゃべりの場」では、日本人中高生と接する機会ができてよかったです。オンラインだから、気軽に参加できたのですが、やはり対面での交流も必要です。いつか元気な姿のみなさんに会える日を楽しみにしています！

このような文化交流の積み重ねが相互理解の増進及び平和な世界の構築につながることを願っております。

(タマサート大学教養学部日本語科准教授、

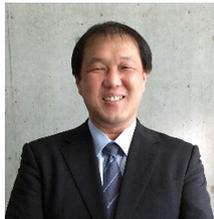
タイ国日本研究協会顧問 タサニー・メーターピスィット)

— オンライン交流会に参加して —

今回の交流会には28人の生徒が参加し、発表機会も頂きました。発表生徒が達成感を感じただけでなく、発表を聞いた後輩から、次は自分も発表してみたい！という声が上がっていました。学年の枠を超えたつながりをもつことができたことも、生徒たちにとって大きな収穫です。このような機会を頂き、感謝申し上げます。

この交流会では、異文化理解という側面よりも、共通性の認識という側面をより強く感じました。今の世の中は情報の拡散が瞬時に行われます。だから今日本で流行っていることは、今海外でも流行っています。生徒たちは、自分たちの好きなものについて一緒に“好き”を語り合える留学生の方々に親近感をもっていました。異国の文化を伝え合うことだけではなく、親近感をもてる交流にこそ大きな意味があり、世界平和への第一歩であると、強く実感できる交流会でした。次年度以降もどうぞよろしく願いいたします。

(鷗友学園女子中学高等学校教諭 伊藤 弘顕)



学生からの感想

新春交流会で様々な若者文化を知ることができてよかったです。日本で人気のポーズも気に入りました。そのポーズを使ってみたいと思うようになりました。Iメイトの方との交流を通して、色々な日本の文化を教えてもらえました。ほかの国の人も日本語で交流ができてうれしかったです。機会があったら、また参加したいです。(タマサート大学
ワスリー・ヨンワッタナセット)

私は初めて新春交流会に参加した。アジアの新しい風の皆様だけではなく、日本語に情熱を共有する友達と交流する機会もあり、嬉しかった。「若者文化」というテーマを通じて、各国の若者文化には独自の特徴があると思うが、全ての若い人達は自信とダイナミズムを持っていることが感じられた。私にとって、新春交流会の参加は有意義で楽しい体験だった。

(貿易大学 ド・フォン・アイン)

私はオンラインで盛大なイベントは初めてで緊張しました。5か国の学生達は本国の言語習俗と生活習慣を紹介し、色々な演芸を披露しました。素晴らしいでした。私も「秋桜」を独唱しました。皆さんからの笑顔と励ましは、私に温もりを与えてくれました。仮に将来このようなイベントもあれば、私は必ず参加すると思えます。

(架け橋グループ・清華大学院 孫 秋実)

— 春が来た日 —

春節の余韻が延々していた頃の2月13日に、お待ちかねの新春交流会に参加しました。今回は交流校4大学のIメイト学生と東京都の中高校生含む7グループと日本人会員と一堂にして、「若者文化」という題に沿って、若者たちがユニークなPPT発表や多彩なパフォーマンスを披露しました。

私は第一部のみの参加でしたが終始、パワフルな出し物に目が惹かれ楽しい時間を過ごしました。スクリーンに映し出された学生達の笑顔が本当に素敵でした。架け橋の学生今年2組8名が参加して中には新生組がパフォーマンス担当のため、冬休みを早めに引き上げ帰校し、演奏資料の収集、リハーサル準備、録画に必死でした。全てズーム越しに海の向こうにいるアジ風の関係者、学生同士も喜んでいただけたらとの一心でした。そしてアットホームのような仲間たちの演出にも共感して、拍手惜しまず送りました。

新春交流会の4日後に新学期が始まり、しばらくは盛会の余韻が頭から離れません。充電された気分が続き暗い闇から抜け出す力になりました。春がやってくる季節に変わり一日も早く災難が終息、海渡り、対面留学が再開、リアルで会える日が訪れるよう、夢が叶えるよう願うばかりです。

(東京工業大学北京事務室 王 亜民)

— 期待以上に楽しめた新春交流会 —

私は、昨年10月にアジ風に入会しましたので、新春交流会は初参加でした。入会して以降、Iメイトとの交流や「おしゃべりの場」等への参加を通して、若い人達の文化に興味を覚えていたので、楽しみに参加しましたが、日本を含めた5か国7グループからの発表は皆映像を上手に活用した素晴らしい出来栄となっており、期待以上に楽しめました。各グループとも発表内容はそれぞれにユニークでしたが、「カフェ」文化等若者らしい共通点も見られたことも興味深いものでした。各グループとも発表ビデオの制作には相当の時間と手間がかかったことが窺えましたが、それだけ、アジ風の活動への期待が大きいことと思ひ、この意義深い活動への思いを新たにしました。

(正会員 大石 純)



アジアの新しい風の新春交流会に参加させていただき、非常に嬉しく思っております。皆さんの素晴らしい発表を拝聴いたしまして、大変勉強になりました。そして、「若者文化」を中心に、グループの皆さんとお話できて、楽しいひと時を過ごせました。今回の交流会を通じて、各国の若者文化はそれぞれ異なっていながら、様々な共通点を見出すこともできました。またお会いできるのを楽しみにしております。(清華大学 杜 晗熠)

アジ風と二回目の交流です。2月13日は4つの大学も新春交流会に参加しました。交流会のテーマは「若者文化」でした。このテーマについて、若者と年上の人の意見から聞きましたのもっと頭に広く考えさせてもらいました。若者向けのテーマを使うのはいいですが、私なら年上の人が好きなものについて話し合うことを面白いと思います。この交流に参加できてとても嬉しいです。どうもありがとうございました。

(パジャジャラン大学 アウリア リフキアナ アジクリ)



タマサート大学おしゃべりの場

1月15日、「おしゃべりの場」が開催されました。参加者は日本人会員14人、タマサート大学7人に加え、今回は新たに「おしゃべりの場」のスタートを目指しているパジャジャラン大学からの参加が5人、ハノイ貿易大学からも1人の参加があり、合計27人が5つのグループに分かれておしゃべりしました。



恒例の「はじめのゲーム」は、学生たちが考えたクイズ「何の仕事でしょう?」。子供のころにしたかった仕事、自分がしたい仕事などを当てるゲームです。これをきっかけににぎやかに自由な会話が弾みました。学生からの事後アンケートには「いろいろな話題が出て、楽しく話せた」「ゲームが楽しかった」などの感想に加えて、「みんなが優しく、たくさん日本語が話せた」「聞き取れなかったり、日本語を思いつかなかったりして、思ったほど返事できなくて悲しいが、次回はもっと頑張りたい」などがありました。他方、「運営がスムーズでない」「学生には難しかったのではないか」「ゲームはそろそろやめてはどうか」といった意見もありました。学生さんとともに改善を加え、さらに楽しい会話が弾む場を作ってきたと思います。

(おしゃべりの場担当理事 武田 高)

景、年末のTV番組、獅子舞や初詣など。似ている風習、異なる点、写真も交えて、多くの話題に盛り上がりました。

彼らは理工系の専門なので、日本語が不得意な学生も多いのが実情です。交流会では英語も交えての会話となりましたが、楽しい時間となりました。

(Iメイト交流コーディネーター 浮田 輝彦)

パジャジャラン大学Iメイト交流会並びに

第一回目「おしゃべりの場」

2月27日、パジャジャラン大学とのイベントを事務局と共にZoomで開催した。Iメイト学生21人とアジ風会員20人の総勢41人の参加で、前半はIメイト交流会、後半は6つのルームに分かれてそれぞれ違ったテーマでおしゃべりを楽しんだ。



Iメイト交流会は、Iメイト学生が1人ずつ自己紹介とIメイト会員の紹介した後に、Iメイト交流を昨年11月から始めた3人の3年生の学生さん達に感想と提案(あれば)を話してもらった。3人共に順調に楽しく交流が出来ている様で、「色々な事が勉強になった」「面白い経験が出来て、色々な事を知れる機会となった」「漢字の練習、日本の歴史や文化について知ることが出来ている」などの感想が出された。

提案の一つとして、メール以外のツール(LINE)との併用について、学生さん達と会員双方から意見が出された。また、メールの文章添削以外にもZoom等のテレビ電話での会話練習もIメイト同士のお互いの合意のもとにやってはどうかとの意見も出された。

後半の「おしゃべりの場」は、「旅行と観光地」「去年叶わなかった願い」「趣味と興味」「日常生活」「食べ物の紹介」「音楽、映画、スポーツ」の6つのテーマにIメイト同士の組み合わせを中心にしたグループ分けで、自由に気楽におしゃべりをしてもらった。その結果も踏まえて、第二回目以降のおしゃべりの場の継続とその内容についてお互いに議論して進めていく予定である。

(Iメイト交流コーディネーター 鈴木 一美)

架け橋グループのオンライン交流会

架け橋グループの学生は、清華大学と東京工業大学との大学院交換留学生で、現在はオンラインリモートの形で研究活動や学位審査が進められています。しかし実際の相手国への訪問は新型コロナの影響でストップしたままです。既に3学年分の院生たちが訪日できない状況が続いています。



1月23日に開催した今回の交流会は学生会員9名、OB1名と、アジ風会員13名が参加しました。前回は9月だったので、半年ぶりの開催になります。最初に全員の自己紹介をして、その後は3グループに分かれ、お正月を話題にフリートークを1時間半ほど、中国の春節や日本のお正月の行事や習慣を紹介しあいました。里帰りや家族団らん、餃子や雑煮の食事風

役員人事

1月10日に開催された理事会において、一名欠員となっていた理事に監事の大橋典子氏を選任、後任の監事には深尾和一氏を選任することが承認されました。

(下欄、会員紹介をご参照ください)

会員紹介

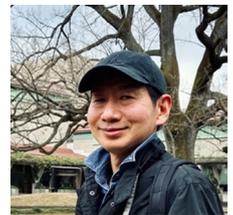
深尾 和一さん

深尾さんは福沢諭吉氏と同じ大分県の中津市のご出身ですが、東工大に入学以来、なかなか中津に帰省する機会は少ないそうです。大学卒業後は日本の電機メーカーでコンピューターの設計、開発、企画に携われ、現在は米国系のIT企業にお勤めです。

30代で企業派遣の留学生としてスタンフォード大学でコンピューターのハードウェアの技術を深められましたが、その分野にはインドや、中国などのアジア系の留学生が多く、多文化共生の原体験をされました。その後も米国企業への出向などを通じて、米国と日本の架け橋の仕事が続けておられます。アジ風に関心を持たれたのもそのような背景があったからでしょう。

或る日インターネットで「アジア」、「留学生」、「支援」などのキーワードを入れて検索したところ、「アジアの新しい風」のホームページをヒットし、その活動内容に大いに共感して入会されました。

現在は東工大に留学中(まだ来日できず、オンライン留学)の清華大学の石忻然さんとのIメイト交流を続けておられます。STS(Science, Technology and Society)科学技術社会論つまり科学技術の発展による社会への肯定的および否定的影響、また逆に社会が科学技術の方向性に与える影響を分析するという高次元の話や、1980年代の日本のポップス(シティポップ)のコード進行論なども織り交ぜて、とてもアカデミックなお付き合いをされています。



交流に当たり石さんは翻訳ソフトも利用されていますが、「語学習得だけを目的とせず、最新技術を最大限に活用してより議論を深堀するやり方もいいですね。」と笑顔で話されました。「これからのアジ風には若い力をもっと積極的に取り入れた方が良い。鷗友学園の学生達などが将来のコアになってくれればと思っています。」とも助言くださいました。

インタビュアー：園田 成和



2022年1月12日に開催された清華大学のIメイト学生集会から、Iメイト交流により「日本語力(特に作文力)が向上した」、「日本語だけではなく、日本のリアルな社会や文化への理解も深まった」との声が届きました。今回は、2021年の秋から開始された高橋雪子さんと張雪晴さん、大橋典子さんと黎姿さんとの交流をご紹介します。

(Iメイト交流コーディネーター 三木 京子)

高橋雪子さんと張雪晴さんの交流

雪晴さん→雪子さん

2021年11月1日



初めてメールをいただき、本当に嬉しくて寮で大声で叫びました!私のおばあちゃんと同年、名前に同じ「雪」の字があるのは良かった!

日本語を選択したのは、アニメ、映画、ドラマを見て、日本の文化産業はとても発達していると思います。「私は日本語の小説を読みたい」という決心があり、あの特別な「物の哀れ」には感心があります。日本語を勉強して1年半になりますが、文法や発音はまだ苦手です。これからの交流はとても楽しみです!明日の北京は雪、初雪は待ちきれないです!

雪子さん→雪晴さん

2022年1月24日

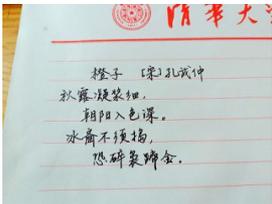


春節の休みに『枕草子』を読むとは凄いですね!私は漢詩が好きで中学時代に習った杜甫の「春望」、「国破山河在 城春草木深 感時花濺淚 惜別鳥驚心」を今でも覚えています。

雪晴さん→雪子さん

1月25日

中国の「詩仙」杜甫の詩が好きなのは凄いですね!漢字は私達の共通語だけでなく、美しい芸術だと思います。昨日書いた、私の好きな宋時代の孔武仲「橙子」という漢詩を添付します。



「翻訳」

秋の露が橙の上に凝結
朝日に照らされ鮮やかに感動
氷のコップの中で砕くことはない
美しい金色を破壊しないように

雪晴さん→雪子さん

2月12日

羽生選手のパフォーマンスは本当に素晴らしいですね!あの4回転アクセルは終わらなかつたけれど極限を超える精神は心の中に深く残っています!中国の若者にも人気者になってきました。

雪子さん→雪晴さん

2月21日

昨夜は閉会式テレビ中継をあなたも見ていたと思います、長いけれど(笑)最後まで見ました。我らの象徴?大きな「雪の結晶」は綺麗でしたね!55年前?私があなたと同年(20歳)の時、夏の東京オリンピック閉会式に抽選で当たり、見に行ったことを懐かしく思い出しました。海外の選手達が会場で大勢、大喜びで抱き合っているのに感動!あの時の私が今のあなたと同年と思うと何とも不思議な感じも。(笑)

大橋典子さんと黎姿さんの交流

黎姿さん→大橋さん

2021年11月25日



北京の冬は四川省出身の私にとって寒すぎると思います。冬休みを親しみしています。(笑)呪術廻戦はもう見ましたよ!五条悟先生はとっても、とってもカッコいい!私も彼みたいな先生が欲しいです。毎日の授業も宿題も多くて、とても忙しいです!睡眠時間も足りませんが、困りますね。

大橋さん→黎姿さん

12月2日

れいしさん、こんにちは!勉強が忙しいときには、勉強を優先してくださいね。寮から教室まで2キロメートルもあるの?それは大変!でも運動になりますね。コロナでみな運動不足になり、今はマラソンをする人も多いです。れいしさんは運動大好き少女でうらやましいです。

黎姿さん→大橋さん

2022年1月17日

夫婦別姓制度については、大橋さんはどう思いますか?中国では、妻は姓名が変えませんが、育てる子供は必ず夫と同じ姓名を使います。それを知らない人は「あ、この子供の両親は離婚しましたか?」と言います。今の日本で、妻は依然として姓名を変えますか?

大橋さん→黎姿さん

1月18日



日本には戸籍制度があり、女性は結婚すると夫の戸籍に移動します。今でも大半の女性が夫の戸籍に入ります。今では、法律上は姓を変更しても、職場で旧姓の名前を使いつづける人が多いですよ。中国では別性ですから、女性の戸籍も変わらず、子供は女性の戸籍に入ると聞きました。なぜ男の赤ちゃんが優遇されるの?

黎姿さん→大橋さん

2月1日

私は試験の後で、すぐに家に帰りました。関心をかけていただきましたが、ありがとうございます!

今は四川の家で、ここは新型コロナウイルスがなくて、とても健康ですよ。女性は結婚したあとで、ほかの家の人になります。それで、中国の女性が財産を相続するのはダメです。幸せなのは、私の両親は私だけを育てます。(笑)

今後の行事予定

*詳細はHPを参照

4月23日(土)

貿易大学 Iメイト交流会

5月9日(土)

清華大学 日本語コンテスト

*上記行事はすべてオンライン開催

9月18日(日)

第20回 総会

講演 赤坂清隆氏

(元国連副事務総長)

・・・編集後記・・・

オンラインによる新春交流会は、各大学のIメイト学生、日本の学生会員に加え、鷗友学園の生徒有志による発表が行われ、若者の発信力、ネット力を存分に示してくれた。参加者の内訳は、10代が21%、20代が34%、30-40代、8%、50-60代、12%、70以上が25%となった。感想では、アジアの若者文化を知ることができた、色々な人との交流ができ楽しかったとの評価が90%近くを占めた一方、日本語がよく分からなかった、時間が長すぎたとの意見もあった。今後の課題だろう。

参加者は、国ごとの違いよりも共通点が多い事に気付いた。このような異文化交流を地道に積み重ね、相互理解を深め、対話力を高めていくことが大事であり、それがアジア風が目指す世界平和への道と信じている。今この瞬間にも世界で続いている武力による弾圧の、一日も早い終焉を心から願っている。(島村 美智)